

第3回コミュニティースクール

記録：教頭 長木

1 期日・・・令和6年2月21日

9:30～授業参観

11:30～話し合い（校長室）

2 参加者・・・委員，嶺井のぞみ（南城市コーディネーター）

3 話し合い内容

- (1) 特別支援教室等，個々にあった授業や取り組みがなされて素晴らしい。
- (2) 佐敷の子はいつ観ても，落ち着いて学習に取り組む素晴らしい。
- (3) タブレットをどの学年も活用していて，よりよい調べ学習でよい。
- (4) 以前，担任の児童に対する冷たい言動で学級崩壊。保護者からつかれ，教職をやめてしまったことがあったが，今の先生方は，子ども一人ひとりを観てくれているのがよい。
- (5) 先生方の努力がよく伝わる。
- (6) 支援員の現状（人数，学校からの要望，陳述書を提出済み）
- (7) フリースクールに通っている人数・場所について
- (8) 登校しぶり，不登校の確認（人数と現状）
- (9) キャリア教育の充実が求められる。富山県は不登校をなくすため，キャリア教育に取り組んでいる。
- (11) ホテルの人事課にいて，引きこもりの大人を採用しても，すぐやめてしまう。社会的な課題である。不登校の児童・生徒を職場体験させたことがあるが，仕事の大変さを知り，学校の方がいいと行って，戻れた子もいる。
- (12) インターナショナルリゾート？で講師もしている。「仕事にほこりを持つ」ということでの講師もできる。活用してほしい。
- (11) 多くの学校で総合的な学習は学年毎に区切られているが，佐敷はどうか？

昨日，琉大の教授を招聘し，総合的な学習の時間の研修を行った。佐敷もこれまで の取り組みを見直し，佐敷小での育てたい資質・能力を明確化し，学校での一つのテーマを設定し，系統的な学習を計画していくところである。

4 【雑談】

- (1) コストコの完成が早まる。それに伴って，人件費，自治会費の徴収。交通の整備，交通安全について
- (2) 仕事は賃金ではなく，やりがいを持てることが一番大事。